

| 現存12城名前 | 国宝・重要文化財 | 所在地 | 築城年 | 築城者 | 天守の形 |
|---------|---|---------|-------|---------|-------------------------|
| 松本城 | 国宝5棟 | 長野県松本市 | 1594年 | 石川数正・康長 | 層塔型5重6階の大天守と3重4階の乾小天守等 |
| | 現存12天守の中では唯一平城の天守 漆黒で簡素な外観だが複合連結式の為見る角度によって異なる | | | | |
| 犬山城 | 国宝1棟 | 愛知県犬山市 | 1469年 | 織田広近 | 複合式望楼型3重4階地下2階の天守 |
| | 天守は最上階に実用的な外廻縁と高欄が付けられ、華頭窓も付けられているが、実際は窓ではなく装飾である | | | | |
| 彦根城 | 国宝2棟 重文5棟 | 滋賀県彦根市 | 1622年 | 井伊直継 | 複合式望楼型3重3階地下1階の天守 |
| | 文禄・慶長の役の際に朝鮮半島に造られた倭城にも見られる登り石垣や大名庭園も現存する | | | | |
| 姫路城 | 国宝8棟 重文74棟 | 兵庫県姫路市 | 1601年 | 赤松貞範 | 望楼型5重6階地下1階の大天守と3重の小天守等 |
| | 日本国内最大の現存天守である。白漆喰で塗られた白亜の外壁と屋根や破風の構成美 見る方向により異なった連立式 | | | | |
| 松江城 | 国宝予定1棟 | 島根県松江市 | 1607年 | 堀尾吉晴 | 複合式望楼型5重6階 |
| | 昭和25年以来 平成27年7月の国宝になる 現存唯一内部に井戸がある 広さは現存の城3番目 | | | | |
| 弘前城 | 重要文化財9棟 | 青森県弘前市 | 1611年 | 津軽為信・信枚 | 独立式層塔型3階の天守 |
| | 1617年落雷により天守を消失1810年に建て替え 現存の天守では最北 最東に位置する | | | | |
| 丸岡城 | 重要文化財1棟 | 福井県坂井市 | 1576年 | 柴田勝豊 | 独立式望楼型2重3階の天守 |
| | 最古の現存天守とする説があるが昭和23年の福井地震により倒壊元の古材を80%使用 昭和30年再建された | | | | |
| 備中松山城 | 重要文化財3棟 | 岡山県高梁市 | 1681年 | 秋葉重信 | 複合式層塔型2重2階の天守 |
| | 現存天守の中では最も規模が小さい 高さ11m 天守1階に囲炉裏が現存する山城の遺構はここだけ。 | | | | |
| 丸亀城 | 重要文化財3棟 | 香川県丸亀市 | 1660年 | 生駒親正 | 独立式層塔型3重3階の天守 |
| | 天守は14.5mと3番目に低い 総高66mにある総石垣の頂上に建てられている | | | | |
| 松山城 | 重要文化財21棟 | 愛媛県松山市 | 1602年 | 加藤嘉明 | 層塔型3重3階地下1階の大天守と2重の小天守他 |
| | 平山城においては最も高い標高160mにある また一番新しい1852年日本式城郭建築の天守 | | | | |
| 宇和島城 | 重要文化財1棟 | 愛媛県宇和島市 | 1666年 | 橘遠保? | 独立式層塔型3重3階の天守 |
| | 日本最南 最西端の現存天守で唯一城内に障子建具が残る | | | | |
| 高知城 | 重要文化財15棟 | 高知県高知市 | 1603年 | 山内一豊 | 独立式望楼型4重6階の天守 |
| | 火災で1747年に再建された 現存の城の中でも唯一本丸御殿があり本丸の建物がすべて残り重要文化財本丸に11あり | | | | |

江戸時代からの天守が残る12城の主なデーター

土佐史談会 島崎